

次の世代へ、豊かな自然を引き継ぐ

地球温暖化の進行を防ぐためには、一人一人の行動が大切です。地球温暖化防止活動推進員として活躍されている「エコ三木」の方々に、デコ活の重要性や日常生活の中で気軽に取り組めるエコな行動について聞きました。



エコ三木
松本弘さん 若田芳枝さん 杉本忠明さん

「エコ三木」とは

地球温暖化防止活動推進員として、兵庫県から委嘱を受けて活動している市民団体です。市と一緒に子どもたちを対象とした「デコ活教室」、「出前環境教室」などをはじめとした地球温暖化防止の啓発活動を行っています。

異常気象を自分ごと

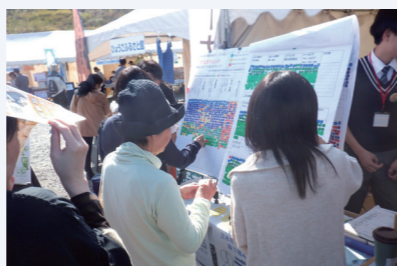
夏場は、暑さの影響で学校の体育の授業が屋外でできない日が増えるなど、地球温暖化の影響が私たちの生活にも現れています。しかし、その原因が地球温暖化によるものだと実感したり、自分自身の生活と結びつけて考える人は、まだ多くないように感じます。30年、40年後の地球環境はさらに深刻な状況になることが予測されており、その現状や課題を市民の皆さんにしっかりと伝えていく必要があると感じています。



▲環境教室の様子

関心を持ってもらう工夫を

イベント出展時は、展示だけではなく、実験やモノづくり体験なども取り入れ、子どもから大人まで親しみやすく学べる工夫をしています。ほかにも、「デコ活チェックアンケート」を毎年実施しています。普段どくらくらい環境に配慮した行動をしているかを確認できるうえ、「これならできそう」という身近な「デコ活」に気づききっかけにもつながっています。楽しみながら環境問題に関心を持ってもらい、「自分にもできることがある」と感じてもらうことや、地球温暖化対策を「自分ごと」として考えってもらうことを意識して活動しています。



▲イベント出展時の様子

一人一人の行動が未来をつくる

環境のための取組は、決して特別なことではありません。また、環境のための取組は、地球温暖化防止だけでなく、災害時への備えにもつながります。一人一人の取組は小さく見えても、地域全体で続けていくことで大きな力になります。「知っている」から「している」へ。無理をするのではなく、できることから一緒に始めていきましょう。

身近にできることが日常生活の中には溢れています！



身近なエコから始まるデコ活

問 (市)環境政策課

近年、国内外でさまざまな気象災害が発生しています。地球温暖化が進むことで、猛暑や大雨などの異常気象が増え、私たちの暮らしにもさまざまな影響が出ています。気候変動の原因といわれている二酸化炭素などの温室効果ガスは、日常生活や経済活動によって排出されています。そのため、未来を担う子どもたちも安心して暮らせる社会をめざし、カーボンニュートラルの実現に向けた取組が必要です。

市では、令和3年4月から地球温暖化対策への意識啓発として「ワールチョイス」を推進し、令和6年4月からは、具体的な事業を実践する「デコ活」へと発展させ、地球温暖化対策の推進に取り組んできました。また、令和7年4月に「三木市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、令和12年度までに、二酸化炭素などの温室効果ガスを平成25年度比48%削減する目標を掲げ、市民・事業者・市が一体となって取組を推進しています。

21世紀末の予測 今よりもっと危険な暑さに

今の状態のまま何も地球温暖化対策をしなかった場合、兵庫県の年平均気温は、20世紀末と比べて、**約4.3℃**上昇すると予測されています。



台風・大雨の増加

日本付近の台風は**強まる**
傘が役に立たないほどの激しい雨の年間発生回数は、20世紀末と比べて**約2.7倍に増加**



【出典】神戸地方気象台「兵庫県の気候変動」リーフレットから作成

「デコ活」とは

デコ活は、市民・事業者・市が協力し、二酸化炭素の排出量を削減する行動・活動により、未来の豊かな暮らしと持続可能な社会をつくるための前向きなライフスタイル転換を促す取組です。脱炭素(Decarbonization)とエコ(Eco)を組み合わせた、日本全体を進めるカーボンニュートラル実現のための国民運動のことで、環境省が主導し、暮らしの中で二酸化炭素の排出量を減らす行動を広げることが目的としています。具体的には、省エネ家電の導入、再生可能エネルギーの利用、食べ残しの削減(食品ロス削減)、公共交通の活用など、誰でも日常で取り組める行動が多く含まれています。

